



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ァ ン ケ ル
代 表 者 名 代 表 取 締 役 宮 島 和 美
社 長 執 行 役 員
(コード番号 : 4921 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 専 務 執 行 役 員 島 田 和 幸
グ ル ー プ サ ポ ー ト セ ン タ ー 長
(T E L 045-226-1200)

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想値と 実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 11 日の決算発表時に公表した平成 28 年 3 月期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) の連結業績予想と本日公表の実績値との間に、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 90,000	百万円 1,500	百万円 1,650	百万円 900	円 銭 14.06
実 績 値 (B)	90,850	1,204	1,421	522	8.31
増 減 額 (B - A)	850	△295	△228	△377	
増 減 率 (%)	0.9	△19.7	△13.8	△41.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	77,632	4,001	4,283	2,301	36.11

2. 差異が生じた理由

新中期経営計画の方針のもと平成 27 年 4 月からスタートした戦略的な広告投資が成果を上げたことなどにより、主力の化粧品関連事業及び栄養補助食品関連事業が好調に推移した結果、売上高は前回予想を上回る結果となりました。

営業利益、経常利益は流通チャネルの伸長や、新規のお客様獲得が想定以上に好調に推移したことなどにより原価率が一時的に悪化したことや、成長基盤強化のために積極的にマーケティング投資を行ったことなどにより販売費及び一般管理費が増加し、前回予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は上記要因に加え、平成 28 年度税制改正に伴う法定実効税率の変更による繰延税金資産の取り崩しなどにより、前回予想を下回る結果となりました。

以上